

静岡県知事 川勝平太様

日頃は静岡県民のためにご尽力いただきありがとうございます。

また本日は貴重なお時間をいただき住民との面会の機会をありがとうございます。

早速ですが、私共「丹那の自然と生命を守る会」の設立は今年の1月で、活動を始めてから約半年ほど経ちました。この会の設立のきっかけは、軽井沢メガソーラー計画の方法書の縦覧が始まった昨年の12月、多くの住民の意見を事業者に提出しようとの声掛けをはじめたことからです。この声掛けに賛同して下さった方は、子育て世代の母親、丹那の地元に住む若い酪農家と農家さん、人生の諸先輩方で13名の仲間が集いました。この会の進むべき方向性について、子育て世代と議論した時、丹那が子育て環境には素晴らしい地域であるとともにこの地域のコミュニティの中心が丹那幼稚園と丹那小学校にあること、その真上にこの計画は容認できない、中止を求めていくべきとの結論に至りました。

この会では、「豊かな自然と穏やかな人間関係に恵まれた丹那エリアでの心豊かな生活を将来に及んで享受できるよう、会員が相互に理解し協力し合う優しいコミュニティの形成を目指すとともに、丹那の魅力を広く発信することを結成の趣旨」としています。

私はこの丹那が人づくり、知事の目指す「『有徳の人』づくり」にはとても適した環境であるとともに、この環境を次世代につなげたいと思っています。

この守る会では、これまでくらし・環境部部長、難波副知事にお会いし、会の趣旨を説明するとともに、函南町を含む行政と力を合わせてこの計画を中止することをお願いして参りました。難波副知事にお会いし、この計画がいかに危険であることを下流域まで広めてゆく必要があるとのご意見を頂き、今後、下流域へ向けてのネットワーク構築がカギになると考えています。感情論や感覚的にこの計画の危険性を訴えるのではなく、地質学者の塩坂邦雄工学博士の協力のもと科学的な根拠に基づき、危険性を訴えていきたいと思っています。

守る会はただこの計画に反対するだけでなく、計画中止の先に見える丹那という素晴らしい環境を次世代に伝えるため、情報発信を続けていきます。

今後ともお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

2021年6月30日

丹那の自然と生命を守る会

代表 溝口靖基